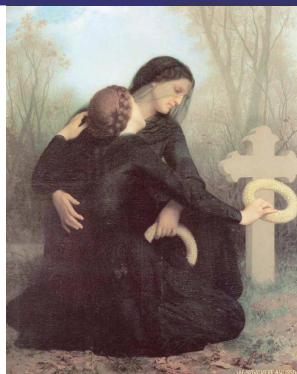


11月の予定

七五三、教会委員会 9日(日)
 信徒の会 例会 16日(日)
 初聖体、子どもミサ 23日(日)



2014年 11月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
 Tel/Fax (045) 803-6141

www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

2014年11月2日

The Day of the Dead (William-Adolphe Bouguereau, 1859)



死者の月 11月



フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

カトリック教会は11月を死者の月として記念します。(ミサ典礼書には死者の為の意向の箇所がカッコしてあります)

ローマのバチカン聖ペトロ大聖堂に入るとすぐ右側に、ミケランジェロの初期彫刻像のピエタ(悲しみの聖母マリア)が防弾ガラスで囲まれて世界中から訪れる人々の目を引き付けています。[十字架から降ろされたキリストを聖母マリアは両腕に抱え、膝に横たわる我が子イエス・キリストを悲しみの目で見つめています]

ミケランジェロのピエタ彫刻はフローレンスに2作品、ミラノに1作品、計4作品で、そのうちバチカンのピエタだけが完成彫刻で、あとの3作品は未完成です。他の彫刻家のピエタと比較しても肩をならべるものがない傑作といわれ、ミラノのピエタはミケランジェロが視力を失いながらの作品といわれています。

故人への思いを馳せて祈る日、諸聖人、死者の日が祝日となって、カトリック教会は永遠の安らぎを得た日をお祝いします。生誕を祝日として祝う聖人は限られています。

山手のカトリック教会墓地にピラミッドの納骨堂があります。そこには2014年11月現在30人(枢機卿、司教、司祭)が葬られています。故宮下師、山崎師は中和田教会の主任司祭として宣教司牧されて召され墓碑に記名されています。異国で生涯を捧げた宣教師の名も記名されています。

この月にあたって、故人への思いを更に深く馳せ、祈る月となりますように。



ピエタ(聖ペトロ大聖堂)



日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	土	諸聖人(祭日)	祭日ミサ(9:30)	
2	日	死者の日	主日ミサ(9:00)	
7	金	初金	初金ミサ(9:30)	
9	日	ラテラン教会の献堂(祝日)	主日ミサ(9:00)	七五三
14	金		週日ミサ(9:30)	
16	日	年間第33主日	主日ミサ(9:00)	
21	金	聖マリアの奉献(記念日)	祭日ミサ(9:30)	
23	日	王であるキリスト(祭日)	主日ミサ(9:00)	初聖体、子どもと共に捧げるミサ
28	金		週日ミサ(9:30)	
30	日	待降節第1主日	主日ミサ(9:00)	

～ 中和田の風 ～

長 崎 原 爆

－ 二度と戦争をおこしてはなりません －

▲古田安巳さん（80才）の叔母さんが長崎で原爆に遭ったお話を伺いました。

一叔母、古田シズは29才の時、長崎で原爆に遭いました。空襲警報が鳴って防空壕に逃げ込もうとしたが間に合わず入口の所で被爆しました。全身火傷で黒焦げになり長崎の病院に搬送して診察してもらったが身体の七分以上の火傷だと助からないと断られ、その後何処の病院に行ってもだめだと言われました。それで叔母は莫座（ござ）に包まれ運搬船（漁船）で七、八時間かけて五島列島の上五島町有川まで搬送され病院に駆け込んで診てもらったが、直ぐだめだと断られました。諦めて莫座に包んだまま有川から旧北魚ノ目村小串港まで又漁船で搬送、その後何で搬送したか分からないが、東から西まで山越えて被爆から丸一日以上かかって白草にある古田家（私の実家）まで連れて来られました。

それからが大変だったそうです。洗濯ダライの上に板を二枚渡して排便できるようにして一日中座っているのを見ました。真っ黒に焦げた顔は目ばかりじろじろとしていて「痛い、痛い」と呻っているのを見ると、子供心に可愛そうだと思いました。治療する薬もなく父（辰造）が卵黄と小麦粉と椿油を練り込んだガーゼを貼って日に四、五回取り替え治療していました。父方の曾祖母は産婆をやっており医者のようなこともしていたので、曾祖母から治療法を聞いたのか手帳に細かく書き込んであったのを覚えています。その後叔母がどのぐらいで治ったか覚えていませんが、回復して畑仕事をしていました。何年かして長崎に戻り平成21年1月9日、九十三歳で帰天するまで病気もせず元気に暮らしていました。

▲全身火傷を負った叔母さんが助かって元気になられたことを今改めてどのように感じられますか？

一どの病院に行っても助からないと言われ、あの混乱の時に誰が連絡したのか搬送する漁船が手配でき、どの医者も見放した叔母を父が根気よく治療してケロイドも殆ど残らず完治しました。奇跡なんかないって言いますけど、...。今思い出すと、あの頃は家族、親戚中全員が毎日近くの曾根教会へ行っていたし、日曜日は小さな船を漕いで、別の島の司祭がいる青砂ヶ浦教会へ行ってお祈りに与っていました。きっとみんなの祈りが届いたんじゃないでしょうか。

▲子供の頃戦争をどんな風に感じたか、また今のお気持ちもお話してください。

一叔母が全身に火傷を負った姿を見るまでは戦争の恐さを特に感じたことはなかったですが、学校へ行っても畑作業ばかりで全く勉強できないので、おかしいなと思っていました。それに今思い出しても涙が出てくることは、叔母と一緒に連れて来られた一番下の乳飲み子が肺炎を起こし、古田家に着いた時にはゼーゼーと苦しそうにあえぎながら亡くなったことです。

戦争を仕掛けなければ誰も攻めてきません。戦争を二度と起こしてはなりません。



被爆マリア像
（長崎・浦上天主堂）



男性陣奮闘！



恒例の中和田バザー開催
（10月26日（日））

ご来場、ご奉仕ありがとうございました！



可愛い売り子さん



初めてのフランクフルト大好評



神父様の蘭コーナー



売り場也大盛況

福祉グループ＜ホームレス支援活動から＞

金曜日の夕方5時40分のバスに乗る事、これがその日の私の最大の責務です。20分余りで立場に着き地下鉄で関内に向かう。7時から始まるホームレス給食のお手伝いに行くためです。

福祉グループの活動の一環として戸塚教会へ毎月お米や野菜を届けているなかで、実働の方でも協力して欲しいとの要請があり、昨年からの活動に参加させて頂いております。中和田教会からは現在3名が月に3回金曜日（第一金曜日はお休み）を交代で行っております。



初めはとても不安でした。かつてテレビで見た歳末炊き出しの騒然とした光景を思い出し、未知の世界へ入っていく緊張感でいっぱいでした。市役所の駐車場の一角に整然と並んで待つホームレスの方々。この緊張感是我の中に幾ばくかの偏見があるからだと戒めて進みました。失敗しないように・・・と紙コップに味噌汁を注ぎ手渡しするのですが、「こんばんは、熱いから気を付けて」の言葉かけがなかなかできませんでした。

あれから一年近く経って、最近は随分慣れてきました。わずか一包みのおにぎりと実のない味噌汁の配食ですが、「ありがとう」とか「ごちそうさま」の声を聞くと緊張もほぐれてほっと致します。

ホームレスの方々に神様のお恵みが豊かに注がれますように。

また、この活動の中心となって給食を準備してくださっている方がフィリピン出身の女性であること、金曜日だけでなく日曜日にも十年以上に渡って行なわれていること、どなたでも一回でも参加して頂ければ大歓迎であることも追記したいと思います。

（磯田 昭代）

一粒会大会参加記

秋晴れの9月23日（秋分の日）、今年で47回目となる横浜教区一粒会大会が静岡のサレジオ校を会場に行われ、日野神父様をはじめ11名で参加して参りました。

第5地区からの参加者は、2台のバスに分乗して朝7時10分に藤沢を出発しました。無事到着して会場に入ったときには、1000人は入るというマリアンホールはすでにほぼ満席で、参加のみなさんの司祭、修道者への熱い思いに包まれていました。

今回は、梅村司教様が当日行われた大阪での前田万葉大司教様の着座式にご出席のためお出でになれず、すこしさみしい大会となりましたが、実りの多い大会でした。



基調講話は藤沢教会ご出身の、サレジオ修道会司祭の佐藤直樹神父様。ご自分で作られた画像を使って、「神父様と先生には絶対ならない」と言っていた少年が、神様の導きでまさにその神父と先生になってしまったというお話を、すべての人を引き付けずにはおかないユーモアとすばらしい話術でお話になりました。一緒に聞いていた子どもさんたちは、自分たちへも神様がどんな働きをしてくださるだろうかとワクワクしたにちがいありません。第2講話では若者との関わりや信頼関係の構築の大切さを熱く語り、それを実践しておられる姿を見せてくださいました。

締めくくりのミサは、子どもさんたちが手作りしたローソクが一人ひとりによって祭壇上に奉納され、34名の司祭団と共に捧げられました。

（岩崎 好愛）



手づくりローソクの奉納

委員会だより

(文中敬称略)

△10月12日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

・中和田教会に来て半年が過ぎました。バザーが近づいてきました。準備で大変だろうと思いますが、成功するよう祈ります。

■報告事項・その他

・スケジュール確認
・2014年11月8日(土) ステファノ・濱尾文郎枢機卿 命日祭追悼ミサ(山手教会)
・AA(アルコール依存症から回復を目指す自助グループ)から教会を借りて分かち合いの集いを行ないたいとの依頼があった。日野神父様は三浦海岸教会でも受け入れておられたご経験もあり場所を提供することに關して問題はなしとして了承した。

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))
・典礼こよみ確認
・11月2日(日) 死者の日のミサ 共同体として2014年に亡くなった方の追悼ミサを行う(フラインシスコ アシジ 清水聖さん、パウロ 東原秀夫さん)
・待降節の典礼
12月1日(月)〜12月10日(水)
日野神父様巡礼のため不在
12月6日(土)〜12月8日(月)
ミサ司式、黙想会、ゆるしの秘跡は熊木神父様。
・四旬節の黙想会
3月15日(日) 栄光学園理事長 萱場神父様に日野神父様から依

頼、了承済み

●財務(甲斐)

・9月度の会計報告―特別献金(ハム等売上の献金を含む)
・愛の献金―「難民移住移動者の日」に献金した

●宣教(石井(洋))

・第五地区関連
9月28日(日) リーダー会 キャンプの反省及び来年度の計画等
・湖南キリスト教セミナー 11月29日(土) 13:30〜15:30 大船教会 講師 服部 剛氏
・中高生会
10月4日(土) クリスマスに向けて話し合いをした。

●要理(森脇(彰))

・11月23日(日) 初聖体ミサを行う。当日初聖体後の茶話会は要理で準備する。

●営繕・建物(福島)

・神父様の2F寝室(カーペット)にダニ発生、その他についても具体的な対処法を検討している。

●福祉(楠田)

・ホームレス支援、10月分のお米、梅干し、トーガンを届けた。
・毎月教会報を郵送している方々で県外の方は中止とする。

・去年までバザー収益の一部を福祉から5、6件の施設に寄付していた。今年から寄付先は委員会でも検討、決定するとなったがいつ検討するのか。→12月に検討する(甲斐)

●総務(岩淵(英))

・10月19日(日) ミサ後、臨時信徒大会を開き委員、委員長選出

方法の趣旨を理解して頂く。登録カードを全員に配り、希望奉仕グループを記入、提出して頂き地区集会の参考とする。

●行事(岩淵(洋))

・12月24日(水) 夜半ミサ後のクリスマスパーティは中止、お土産を全員に渡す。

有志の方による持ち込みパーティは可能かと問い合わせがあった。→場所は新集会室のみ。片付け、戸締りに責任を持って頂くことを前提として許可する。

●広報(今井)

・原稿依頼(10月22日(水) 締切り)
・信徒の会(岩淵(英))

・今後の予定―黙想会、観天の会(森脇美武さん)

■討議事項(上野)

・来年度からは宣教G(引率リーダーの方)のキャンプ参加費は教会で持つ
・12月7日(日) 熊木神父様と昼食会を持つ(詳細決定後、参加者を募集する)

以上

次回委員会

11月9日(日)



11月号 編集後記

来年度から画期的な委員選出制度が導入されることになりましたので、今後広報グループで活動される方々に、又これまでに上に皆様にご協力、ご理解頂くために日頃の広報活動を簡単に紹介させて頂きます。

「広報なかわだ」は毎月第一日曜を発行日としていることは周知のことと思いますが、その後の流れについて以下に書き出してみます。まずは当月の広報がなんとか発行されるやいなや次号について打ち合わせをします。なるべくグループ全員で開催予定行事等について原稿依頼、写真撮影の担当を決め、その他の報告なども担当委員の方にお願ひします。いつも快く原稿を引き受けてくださる皆様には心よりお礼を申し上げます。原稿依頼が難しい場合は広報グループが取材、報告することも度々あります。

原稿の締切りは編集、校正、印刷に余裕を持って発効日より10日ほど前としていきます。編集作業が出来ない者でもその大変さはある程度想像できますが、実は校正にも充分時間を取ることが必要とされ、グループ全員の目で確認しております。それでも幾度か間違いがあったこともあり、皆様にはご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

最後に「中和田の風」の投稿、インタビュー欄が好評を頂いております。親しみやすく、どなたにでも参加して頂ける交流の場としての広報紙を目指しておりますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

(今井 暁子)